

① すべての社会保障の土台 =生活保護

「生活保護」切り下げと私たちの暮らし

Q.
政府が検討中の「生活保護基準の引き下げ」。
「受給している人だけの問題」と思っていないですか？

政府は今、生活保護基準の引き下げを検討しています。
生活保護制度から国民をしめ出すとともに、社会保障を切り下げる突破口にしようとしています。

生活保護基準は「健康で文化的な最低限度の生活」(憲法25条)を決める基準です。いわば、私たちの生活、「いのちの最終ライン」です。

A.生活保護基準の引き下げは、私たちの暮らし全体に大きな影響があります。

生活保護基準が実際に引き下げられると、どうなる？

- ① 住民税の非課税限度額が下がり、今まで無税だった人が課税される。
- ② 住民税／非課税の場合には軽かった負担が、重くなる。
 - ▶ 介護保険料 ▶ 医療費上限 ▶ 保育料
 - ▶ 一部自治体の国民健康保険料など。
- ③ 生活保護基準に基づいて、利用条件を設定している施策が利用できなくなる。

(全国)

- ▶ 介護保険利用料・保険料の減額 ▶ 障害者自立支援利用料の減額
- ▶ 生活福祉資金の貸付 ▶ 就学援助給付

(一部自治体)

- ▶ 地方税の減免 ▶ 地方税滞納処分の禁止
- ▶ 国民健康保険料の減免 ▶ 国民健康保険医療費負担の減免
- ▶ 公立高校授業料の減免 ▶ 公営住宅家賃減免
- ▶ 自治体の公的貸付

日本弁護士連合会「今、ニッポンの生活保護制度はどうなっているの?」より作成。2012年

働く人の賃金にも影響



最低賃金も「生活保護施策との整合性に配慮すること」とされています。生活保護基準が引き下げられると、ただでさえ低い最低賃金も、引き上げが困難となるばかりか引き下げられるおそれさえあります。



新しい暮らし・経済のためのメモ

**生活保護基準は、国民全体の支え。
様々な負担軽減策に連動する。**